

令和4年度調布市文化財保護審議会（7月～9月分）について

第3回審議会

- 1 日時 令和4年7月26日（火） 午後2時～午後4時
- 2 場所 調布市郷土博物館 会議室
- 3 出席委員数 6人
- 4 審議内容

(1) 深大寺所蔵「黄檗版大般若経」の文化財指定について

今年度の文化財指定候補である深大寺所蔵「黄檗版大般若経」（写真①）について指定理由説明書の素案の確認を行いました。指定の種別は「典籍」ではなく「歴史資料」とすること、経典だけでなく収納箱を含めた指定とすること、法量の計測等の追加調査を実施することなどが決まりました。また、資料の説明や指定理由についての記述は、生駒委員に原稿を依頼することとなりました。

(2) 文化財説明板の文案について

深大寺所蔵「絹本着色釈迦三尊十六善神図」の文化財説明板の文案の確認を行いました。委員からは、専門用語が多く文章が固いので読みにくい、もっと分かりやすい表現や用語を用いて、ふりがなを増やすなど、読みやすい文章とするよう指摘がありました。次回以降の継続審議となりました。

第4回審議会

- 1 日時 令和4年8月24日（水） 午後2時～午後4時
- 2 場所 調布市郷土博物館 会議室
- 3 出席委員数 7人
- 4 審議内容

(1) 深大寺所蔵「黄檗版大般若経」の文化財指定について

「黄檗版大般若経」の指定理由説明書（案）の検討を行いました。

収納箱については、附けたりではなく、経典と一括での指定とすることになりました。このほか、制作年代は「江戸時代後期」ではなく、「江戸時代中期から明治」とすること、全600巻のうち欠けたり、重複したりするものがあるのはなぜか理由を書き加えることなど、委員から指摘があり、次回以降、継続審議することになりました。

(2) 文化財説明板の文案について

「絹本着色釈迦三尊十六善神図」の文化財説明板の文案について、前回審議会で指摘された箇所の確認を行いました。作者の河鍋暁斎の説明は「日本画家」ではなく、より実態を表した「狩野派画家」とすることになりました。また、回りくどい表現や、同じような内容の繰り返しを改め、より簡潔な表現にするよう指摘を受けました。引き続き、次回以降の継続審議となりました。

第5回審議会

- 1 日時 令和4年9月28日（水） 午後2時～午後5時
- 2 場所 調布市郷土博物館 会議室
- 3 出席委員数 6人
- 4 審議内容

(1) 深大寺所蔵「黄檗版大般若経」の文化財指定について

前回審議会で指摘された箇所の修正が終わっていないため、現状での作業の進捗状況の確認を行い、次回以降の審議に持ち越すこととしました。

(2) 文化財説明板の文案について

釈迦三尊十六善神図が制作された経緯について、文案では、河鍋暁斎が元三大師堂の天井画「龍図」など制作したことがきっかけで、本図の制作を依頼されたとあるが、制作時期が逆の可能性があるので、前後関係を再度確認するよう指摘がありました。文献等で確認し、次回審議会で報告することとなりました。

5 文化財視察

会議終了後、深大寺へ移動し、文指定有形文化財である「深大寺山門」（写真②）の茅葺屋根修理事業の視察を行いました。修理事業は、調布市文化財保存事業費補助金の交付事業として令和4年8月18日から10月16日の予定で行われています。



【写真① 深大寺所蔵「黄檗版大般若経」】



【写真② 「深大寺山門」修理事業】